

第6号 2010年7月8日号

# JICAガーナ・ソニー連携ニュースター ワールドカップ・パブリックビューイング

## 目次

### はじめに

#### 先々週のできごと

21日@クシ村(エイズ予防啓発活動&PV)

#### 先週のできごと

29日@ベティアコ村(エイズ予防啓発活動&PV)

2日@モグラ村(エイズ予防啓発活動&PV)

3日@タマレ(エイズ予防啓発活動&PV)

3日@ブングルン(エイズ予防啓発活動&PV)

#### ソニー第2チームの紹介

#### 今後の予定

### 21日@クシ村

#### エイズ予防啓発活動 &PV



白井隊員と郡役所のスタッフ達



メッセージカードを持った子供たち

## はじめに

### JICA& Sony Public Viewing in Ghana: Football against HIV & AIDS

God bless our home land Ghana .

And make our nation great and strong.

7月2日の対ウルグアイ戦は、ガーナ国歌の歌詞のとおり、見事な戦いっぷりでした。メンバーは自信と誇りに満ち溢れ、また最期まで堂々とした潔さを見せました。

でも、もう一度同じ舞台で国歌を聞きたかった。

(次長 佐藤)

## 先々週のできごと

### トーナメントリーグ(スペイン vs ホンジュラス)

アクラからイースタン州のカデまで車で約2時間、その後舗装されていない道路を30分進んだところに、この日の会場クシ村がありました。

この日のために尽力してきた白井美穂隊員(20-3、エイズ対策)と郡役所のスタッフ達などは、朝から警察官や参加者の車輛手配、村長の挨拶などが入り、大変忙しく動き回っていました。

イベントは当初の予定より2時間遅れで開始しました。小学生、中学生などの参加者がルートマーチングを実施後に、村長の挨拶があり、子供たちによるHIVA啓発ソングに合わせた創作ダンスが始まると、観客も増え、最大集客数は900名に達しました。この創作ダンスでは、白井隊員のアイデアでメッセージカードを持った子供たちがリズムに合わせてながら、HIV陽性者の差別を軽減するメッセージを観客に見せるなど工夫がされていました。

その後会場を移動して、学校対抗のサッカー大会が開催され、村長も大会を観戦しました。サッカー大会終了後は会場を戻し、優勝チームにはソニー(株)のボールが贈呈されました。

続いてHIVに関連するコンペティション形式のダンスドラマが始まると、観客は熱心に見入っていました。このダンスドラマ中にも工夫がされており、実際の演劇中に、観客より寄付を集める場面もありました。それぞれのダンス披露が終わると優勝候補者によるダンス大会とクイズ大会を織り交ぜたパフォーマンス時間があり、観客からはそれぞれのダンサーに熱い拍手が贈られました。



29日@ベティアコ村  
エイズ予防啓発活動  
& PV



マイクを握り会場を盛り上げる山田隊員



アンケートの集計を行う藤城隊員

この日の PV はスペイン対ホンジュラス戦で 450 名の観客が大きなスクリーンに映った選手達を応援していました。HIV 抗体検査には 175 名が受検し、内 3 名に陽性反応があり、370 個のコンドームが販売されました。

息のあった連携プレーによりイベントを企画・実施していた白井隊員と、小林隊員、ガーナ人協力者の皆さん、本当にお疲れ様でした。

(フィールド調整員 南口)

## 先週のできごと

### 決勝リーグ(スペイン vs ポルトガル)

クマシから車で約 1 時間、ダートの道をさらに進むこと約 40 分、アシャンティ州テパ郡にあるベティアコ村に着きました。ここは電気がまだ通っておらず、夜になると星が美しい村落です。決勝リーグスペイン対ポルトガル戦のパブリック・ビューイングは 6 月 29 日(火)この村で行われました。

この日は昼間から地元の学校対抗サッカー大会やバレーボール大会、HIV 陽性者に対する差別・偏見撲滅をテーマとしたダンス劇などが行われ、この小さなベティアコ村は村中の人々が参加しているかのような盛り上がりを見せました。この時点で既に 1000 人以上いた観客は、パブリック・ビューイング時には 1300 名。真っ暗な中に浮かび上がる大きなスクリーンに多くの人々が集まりました。

テレビを見る機会もあまりないベティアコや近隣から来た参加者は、「何の試合をやっているのかわからないけど、楽しそうだから来て見た。」「こんな大画面でクリアな映像が見れるなんてすごい！」などと興奮気味に話してくれました。

この日、HIV 抗体検査を受けたのは 252 名(男性 104 名、女性 148 名)、内男性 1 名、女性 5 名の計 6 名が陽性反応を示しました。このうち 15~24 歳の若者は 4 人。こうした交通や情報のアクセスが限られた地域における啓発活動へのニーズの高さが伺えます。村の保健ボランティアが配布したコンドームは、男性用が 2160 個と順調な売れ行きを見せました。村の保健所の保健師からは何度も JICA、ソニー、PPAG に対して謝意が述べられ、今後も継続してこのコミュニティでこのような啓発活動を行って欲しい旨訴えられました。

今回のイベントを中心となって企画、準備した山田剛司隊員(21-2 次隊、エイズ対策)は「本当に大変でしたが、無事に終わってよかったです。」と安堵の声を上げていました。

また、ここまでアシャンティ州の 3 箇所で行われたイベントの開催補助、インパクト調査等を手がけた短期隊員の藤城友昭隊員(21-6、青少年活動)は、「長期隊員の皆さん本当に大変な思いをしながらイベントを成功させ、本当に頭が下がります。イベント実施という一連の経験を通して、ガーナ人の人間性が見えたような気がして、個人的には大変興味深い経験でした。」と語っていただきました。これから調査結果の取りまとめ等大変な作業がまだ残っていますが、引き続き健康に留意して任期を全うしていただければと思います。

(企画調査員 山口)

## 2日@モグラ村 エイズ予防啓発活動 &PV



イベント開催に携わった各務茉莉隊員  
(21-2 服飾)と荒川純江短期隊員(21-  
6 青少年活動)



エイズ啓発の劇の様子



## 準々決勝(ガーナ vs ウルグアイ)

アフリカから唯一の勝ち残り国となったガーナは、この試合にもぜひ勝って大いに盛り上がり、今後に弾みをつけたいところです。

この日のイベント会場はノーザン州サベルグ・ナントン郡のモグラ村にある学校のグラウンド、というより草原という方がぴったりです。ごんまりとした校舎とひっそりとキノコの形をした家の集落がある以外は、見渡す限りみどりの風景です。人口 1500 人程度の小さなコミュニティですが、近隣のコミュニティ対抗のサッカー試合とその合間に行うエイズ啓発の劇には 1000 人以上の村人たちが集まりました。パブリック・ビューイングに先立ち、18 時の開会式では 1400 人ほどの聴衆に膨れ上がり、ブラックスターズの活躍への関心と期待の高さをうかがわせます。

まだ、うっすらと日も残る夕暮れの中、キックオフ。会場に集まった聴衆からは、開始早々ブラックスターズへの熱い声援が飛び交います。前半ロスタイムでのムンタリ選手のロングシュートが決まった瞬間、会場は花火のような歓声と両手を突き上げ、振り回す興奮状態に包まれました。ゴールシーンに何度も酔いしれた状態での前半終了という狙い通りの展開に、大はしゃぎのまま、ハーフタイムに流れた HAPE プロジェクトで作成したエイズ予防啓発ミュージックビデオ「Life goes on」にも乗り乗りで踊りだす聴衆も。

と、誰もがこのまま勝利への道まっしぐら...と固く、固く信じていました、このときまでは...

後半 15 分、ウルグアイのフォーラン選手のフリーキックが決まった瞬間、それまでのムードから一変、会場はシーンと静まり返りました。

その後、両チームの一進一退の攻防が続き、ガーナのゴールが何度も襲われるものの、その都度キーパーのファインセーブでしのいできました。

延長後半のロスタイム間際に粘り強くゴールを攻め続けるブラックスターズの猛攻に、ウルグアイ選手の痛恨のハンド。まさに天からの贈り物であり、これが決まれば残り時間を考えてもそのままガーナの勝利を誰もが確信したことでしょう。キッカーは FW ジャン選手。これまでチャンスのときもピンチのときも圧倒的な存在感と職人技のテクニックでチームを牽引してきたエースです。私たちはこれまでと同じ、ただ安心して見守ればいい。だれがこの結末を予想したでしょうか？なぜ、この時だけ、無常にもボールはクロスバーに跳ね返されるのか？その瞬間、会場からは悲鳴にも絶叫にも似た声が一斉にあがりました。ほぼ掴みかけた勝利の果実が手から零れ落ちる大どんでん返しの筋書きはあまりに惨いものです。

試合は、PK 戦までもつれ、結果として 4 - 2 でガーナは敗れましたが、本当に堂々としたブラックスターズの活躍でした。連日、連夜見事な戦いぶりでごここまで我々に夢を見せてくれ、大いに盛り上げてくれたブラックスターズにはただ一言。「ありがとう。ブラックスターズはガーナのみならず、アフリカの希望と誇りの星である。」

この日はガーナ戦に心を奪われすぎたのか、HIV 抗体検査受験者数は少なめの 95 名(男性 55、女性 40)、陽性反応は出ませんでした。コンドームは男性用 642 個が配布されました。

## 準々決勝(ドイツ vs アルゼンチン)

死闘のガーナVSウルグアイ戦の翌日、この日は会場をタマレ市内のタマレ高校に移しました。

昼過ぎからは、タマレ高校対ノーザン商業高校の女子学生によるサッカー大会を行いました。巧みなドリブルや力強いシュート等、男子生徒顔負けのファイトとプレーが続きました。試合は 1 - 0 でタマレ高校が勝ち、賞品としてソニーからボールが贈呈されました。

## 3日@タマレ エイズ予防啓発活動 &PV



その後、集会所でコミュニティによるHIV啓発ドラマが演じられました。会場が学校であることから聴衆はほぼ全員が学生です。このためテーマも若者にアピールする設定とし、合わせて会場横に設置した HIV 抗体検査の受診を呼びかけ、204 名が受診しました。

14 時キックオフのアルゼンチンVS独戦は、予想に反して開始早々独のペース。前半 5 分にゴールを決めると、後半も攻撃を緩めることなく 3 点を追加。独はガーナと同じDリーグだったこともあり、聴衆は独応援団さながらの模様となりました。この日の聴衆は約 350 名。HIV 抗体検査は多くの学生で溢れ、合計 204 名が受検、陽性反応を示した人は出ませんでした。男性用コンドームは 409 個が配布されました。

### 準々決勝(スペイン vs パラグアイ)

### 3日@ブングルン エイズ予防啓発活動 &PV



念入りに打ち合わせる佐々木隊員

タマレ高校をあとに、会場を昨日と同じタマレ郊外のサベルグ・ナントン郡のブングルンの学校校庭に移しました。草深い原っぱが会場で、あたりを見渡してもシアの木が点々と生えている他はなにもありません。ここも無電化村で、パブリック・ビューイングが始まるとスクリーンに照らされるプロジェクタの光と星以外、何もありません。満天の星空の下、草原の緑とスクリーン上のピッチの緑が不思議に重なって、あたかも同じフィールドでプレーが行われているような錯覚を覚えます。夕闇が濃くなり始めると、会場脇の小道を通って家路を急ぐ女性たち。頭にたらいや荷物を載せて歩く 4-5 人の黒い影たちは、まるで砂漠を移動する旅人を思い起こさせるような幻想的な絵です。試合は 1-0 でスペインの勝利。

この日の最大集客数は約 1200 名、マーケットなどで物の運搬などをして小銭を稼ぐ Kayayo と HIV をテーマにした劇の上演時のものです。HIV 抗体検査は計 128 名が受検、内 2 名が陽性反応を示しました。コンドームは男性用 519 個が配給されました。

今回のイベントを振り返り、サベルグ・ナントン郡の 2 会場を担当した佐々木潤隊員(21-1 村落開発普及員)は「HIV 予防啓発活動やパブリック・ビューイングを通じて普段はかかわることの無い郡役所の人たちと関わりをもつことができ、今後の活動を進める上でいいきっかけとなりました」と話してくれました。

(次長 佐藤)

## ソニー第2チームの紹介

6 月 25 日、ソニー第 2 チームが来ガ、クマシでイベント実施チームに合流しました。メンバー構成は、中西さん、東海林(しょうじ)さん、井上さんの 3 名です。

中西さんは、今回のパブリック・ビューイングのほか、世界中のサッカーファンと共にサッカーボールをアフリカの子もたちに届ける「Earth F.C.」という企画を担当されています。昨年の JICA・ソニー連携イベントでもガーナにいらしゃった中西さんは、既にグラスカッター(大ネズミ)もスネイル(カタツムリ)も食された大ベテラン。

「少しでも多くのガーナの方々に、きれいな映像と音で感動してもらいたい、またガーナの状況を日本を始めとしたさまざまな国の人へ発信し、何かを感じてもらいたいと思っています。ガーナの快進撃もあり、企画している我々も W 杯を楽しんでいます。JICA や青年海外協力隊の皆様には非常にお世話になっております、最後まで無事にこのコラボレーション・イベントが成功するよう頑張りますのでどうぞよろしく願いいたします！」と抱負を語ってくださいました。

昨年は回っていない北部の巡業を楽しんでいただければと思います。(なお、中西さんのガーナでの活躍の様子は TBS が日曜夕方に放送している番組「夢の扉」で 7 月 18 日に放送予定です。)



気合いっぱいの中西さん



左から山口企画調査員、井上さん、中西さん、東海林さん。



井上さんと・・・ワニ

東海林さんはプロジェクトのシステム設計を担当されています。サッカーが本当にお好きだそうで、本プロジェクトに参加できたことを喜んでいらっしゃいました。「とにかく映像の魅力、ハイビジョンの美しさを感じてもらいたい。ビジュアル、サウンドの感動を通して一人でも多くのガーナの人が喜んでくれば、これほど嬉しいことはありません。大勢のためだけにやってるわけじゃない、僕たちは All for one, One for all です。JICA の人たちと Unite し、ファイナルへ向けどんどん盛り上げて行きたいと思います。」と熱く語る東海林さんはソニーチームの癒し系だそうです。

今回オーディオシステムを担当されている井上さんは、日頃は業務用オーディオ機器の商品企画・マーケティングに携わっているそうです。「日本が負けた時よりもガーナが負けた時の方がショックでした。すっかりガーナ食にも慣れ、心も体もガーナに染まりつつあります。ガーナの皆さんの心の穏やかさと温かさには見習うべき事が多いと毎日実感しています。ワールドカップも残り 2 試合となりましたが青年海外協力隊の皆さまとイベントを成功させ、ガーナと日本、お互い良い刺激を与えあってより良い関係を築ければと思います！」とすっかりガーナファンになられた井上さん。パブリック・ビューイングの現場でもいつも積極的に現地の人々との交流を深められています。

パブリック・ビューイングも残すところあと 2 試合分となりました。ソニー第 2 チームは 7 月 11 日(日)決勝のパブリック・ビューイングを最後に、12 日(月)PPAG への機材贈呈と大使館表敬を経て、13 日(火)に帰途に着かれます。最後までガーナ滞在を楽しんでください。

(企画調査員 山口)

## W 杯結果と予定

【6月】

13日(日) Akosombo	<b>ガーナ</b> vs セルビア 【1-0】
15日(火) Apeguso	ブラジル vs 北朝鮮 【2-1】
18日(金) Ayenyah	イングランド vs アルジェリア 【0-0】
19日(土) Koforidua Asikasu	<b>ガーナ</b> vs オーストラリア 【1-1】
21日(月) Kusi	カメルーン vs デンマーク 【1-2】
23日(水) Atuobikrom	スペイン vs ホンデュラス
24日(木) Akoase	<b>ガーナ</b> vs ドイツ 【0-1】
26日(土) Huntado	日本 vs デンマーク 【3-1】
27日(日) Nkawie	<b>ガーナ</b> vs 米国 【2-1】
29日(火) Betiako	イングランド vs ドイツ 【1-4】
	スペイン vs ポルトガル【1-0】

【7月】

2日(金) Moglaa	準々決勝( <b>ガーナ</b> vs ウルグアイ)【1(2) - 1(4)】
3日(土) Tamale Bunglumg	準々決勝(ドイツ vs アルゼンチン)【4-0】
6日(火) Mbanayii	準々決勝(パラグアイ vs スペイン)【0-1】
7日(水) Nwodua	準決勝(ウルグアイ vs オランダ)【2-3】
10日(土) Ajumako	準決勝(ドイツ vs スペイン)【0-1】
11日(日) Agona Swedru	3位決定戦(ドイツ vs ウルグアイ)
	決勝(オランダ vs スペイン)

2010年7月						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

## 編集後記

W 杯もいよいよ2試合を残すだけになりました。応援するチームがなくても、非常にレベルの高い試合を見られるのが楽しみです。きっと PV イベントにも多くの人が集まって盛り上がることでしょう。次回ニュースレターをお楽しみに！

(角崎)